若手勉強会

「幾何を代数に翻訳するートロピカル曲線の場合ー」議 論



2025年度の若手勉強会を2026年3月21日、オンラインで開催し、全国から２名が集まりました。今回発表の宋珠愛さんが「幾何を代数に翻訳するートロピカル曲線の場合ー」と題し、解析・幾何・代数と分けて語られる数学ですが、その境目を越えて広がる世界を、普段数学に接しない方にも寄り添いながらわかりやすく発表いただきました。

質疑応答では、アプローチの工夫や今後の研究展開について２時間活発な議論がなされました。来年度も全国様々な分野で活躍する研究者と連携を持ち活動を継続していきます。

【勉強会事務局】

福祉情報交換会

「パプアニューギニアにおける心のケアの実際と実践 ～SGBVプロジェクトでの心理士の役割」 実践報告と質疑応答

2026年3月21日、第43回目の福祉情報交換会ー臨床心理士の洪潤和さんによる「パプアニューギニアにおける心のケアの実際と実践～SGBVプロジェクトでの心理士の役割」をオンラインで開催しました。

洪さんは、2025年3月より国境なき医師団のメンバーとしてパプアニューギニアに派遣されました。その時の実践を報告してくださいました。

パプアニューギニアは800の部族と多様な言語、一夫多妻制、国民の90％がキリスト教信者であるものの土着宗教の影響も強く、1975年に独立するまでオーストラリアの植民地だったというパプアニューギニアならではの文化的、社会的、歴史的背景があり、その特殊な背景ゆえに様々な形態の暴力のサバイバーがいるとのこと。とりわけ、性暴力の発生率は高く、女性の60％が性暴力被害の経験があり、また10代から20代の若年女性の自殺率も高いとのことです。

暴力被害にあっても医療者や人々の偏見等は根深く、被害者が責められるという現状があり、心のケアやメンタルヘルスの問題は深刻であるものの、精神科医はなんと2名のみで、被害者の受け皿やサービスが無いとのこと。そのような状況にたいして、洪さんらのメンバーは現地の既存の資源をサポートしながら、現地の行政や医療機関等と連携して、心のケアのためのサービスを提供する土台作りを目的として活動されたそうです。

6か月の活動を通して、洪さんは心のケアのシステムが不在の場で、かつ全く異なる文化の中に新しい概念、サービスを導入していくことの難しさを実感したとお話されました。現地での生活や直面した問題などのお話もあり、なかなか他では聞く機会が無い、とても学びの多い内容で、質疑応答も活発に行われました。

当日の参加者は16名で、東京を中心に、静岡、愛知、山口などからの参加がありました。

福祉情報交換会は引き続き、ぼちぼちと開催していきます！

【福祉情報交換会】